

アル・アクサ洪水第737日目：イスラエルがパレスチナ指導者の解放を拒否する中、数十万人がガザ市に戻る

Palestine Chronicle, 2025年10月11日、脇浜義明訳



ガザの医療システムが崩壊し、病院が廃墟と化す中、重大な課題が依然として残っている。(Photo: social media, via QNN)

主要事項

*イスラエル軍がいわゆる「イエローライン」に後退する中、数十万人のパレスチナ人がガザ市やガザ回廊の自分の家の跡地へと帰還している。

*イスラエルは依然としてインティファダー指導者のマルワン・バルグーチやアル・カッサム旅団指導者の釈放を拒否している。イスラエル・メディアによると、最初の捕虜交換は日曜日になるという。

*ガザのパレスチナ保健省によると、2023年10月7日以降のイスラエルの攻撃の犠牲者数は、死者67,211人、負傷者169,961人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月11日 6:24 pm

*UNRWA：UNRWAのメディア担当顧問はアル・ジャジーラに対し、「ガザに援助トラックが入るルートをもっと確保することが必要だ。我々はガザで機能している唯一の国連機関である。ガザで重要な役割を行うにはUNRWAに頼る以外に道はない」と言った。

*アル・ジャジーラ：エジプトのエルシーシ大統領は、「我々は、国連安保理を通じてガザ合意に国際的正当性を与えることが重要だと考えている。我々は、ガザに国際部隊を派遣する必要があると強調する。エジプトは、ガザの早期復興・再建のための国際会議を主催する予定である」と言った。

10月11日 4:10 pm

*ニュースのまとめ

- ・米中央軍司令官、ガザ国境訪問；チャンネル13によると、スティーヴン・ウィトコフ米国特使、イスラエル軍のエヤル・ザミール参謀総長、ブラッド・クーパー米中央軍司令官が、イスラエル軍が「イエローライン」に撤退した後、ガザのイスラエル軍を訪問した。クーパー司令官は、この訪問は「戦後安定支援活動調整センター」の設立について協議するためだと述べた。司令官は、その「大規模な取り組み」には、米軍をガザに地上配備することなく行われると言った。
- ・トランプ大統領訪問準備；イスラエル・メディアは、来週月曜日のトランプ大統領の訪問に備えて、米軍の大型ボーイングC-17輸送機6機がイスラエルへ向かって出発したと報じた。
- ・停戦後、死者数急増；瓦礫の中から遺体が次々を発見されている。ガザ保健省は、この24時間で116人の遺体が収容されたと発表した。病院の報告では、さらに遺体35体と72人の負傷者が病院へ搬送された。これにより、2023年10月7日以降の犠牲者の数は、死者67,682人、負傷者170,033人となった。しかし、まだ多くが瓦礫の下に埋もれていると、保健省は指摘している。
- ・ランティシ病院の破壊；パレスチナのSNSに投稿された映像は、過去数か月間イスラエル軍の直接攻撃を受けた、ガザ市西部のアッランティシ小児科病院の無残な姿を配信している。
- ・ガザ内務治安部隊展開；ガザの内務・安全保障当局は、イスラエル軍が撤退した地域の主要な交差点や市場へ治安部隊を展開して2日目になる。
- ・治安部隊配置の目的；秩序の回復と、過去2年間イスラエル軍が協力者民兵や暴力分子を使って混乱を巻き起こしたことに対処するためである。
- ・銀行業務の復旧；パレスチナ通貨庁(PMA)は、停戦実施を受け、ガザ回廊における銀行業務の復旧に急いで取り組んでいると発表した。
- ・援助促進；PMAは、地域や国際的パートナーを通じた人道支援の流れを円滑にするために、金融と銀行のサービスを提供する措置を講じる決意をしたと強調した。

10月11日 1:11 pm

*パレスチナ・クロニクル：トランプ大統領は、ネタニヤフ首相からノーベル平和賞候補推薦指名され、本人も大いに期待していたが、2025年ノーベル平和賞受賞者はベネズエラの野党指導者のマリア・コリーナ・マチャドがノルウェー・ノーベル委員会によって選出された。

10月11日 12:56 pm

*パレスチナ・クロニクル：継続するイスラエル軍のレバノン空爆は、レバノン停戦協定違反である。空爆はレバノン南部で民間人を死傷させ、復興活動を妨害している。

*ガザ市民防衛団：防衛団の広報担当者マフムード・バサルはアル・ジャジーラに対し、ガザ回廊では依然として9,500人が行方不明だと言った。バサルは、国際赤十字委員会にこの問題への対応と行方不明者捜索支援を求めた。

10月11日 12:41 pm

*パレスチナ・クロニクル：トランプ米大統領はガザ停戦は「持続する」と自信のほどを表現し、合意を関係者みんなにとって「大きなディールだ」と言っただけで終わった。パレスチナの全党派は捕虜交換を歓迎したが、ガザ統治を外国の第三者が行うことを拒否した。

*ハーン・ユニス市：ハーン・ユニスの市長は、記者会見で、市の85%が破壊されたと述べた。彼は、市街から片付けなければならない瓦礫は40万トンになり、水道経路300キロメートルと下水道システムの75%が破壊されたと述べた。市は35万トン以上の廃棄物処理に取り組み、道路復旧作業に9チームが取り組んでいるが、作業にはディーゼル燃料と最新器材が至急必要だと言った。また、破壊され老朽化した発電機と交換する新しい発電機が必要だと言った。

*ガザ市：ガザ市報道官のアセム・アンナビーフはアル・ジャジーラに対し、「市の重機や中型機の85%以上が破壊された。我々は市内主要道路の一部で瓦礫除去作業を始めた。市として優先したいのは、水の確保、道路再開、廃棄物処理、下水道問題の善処だ」と述べた。

*アル・ジャジーラ：イタリアのグイド・クロゼット国防相は、14日火曜日にラファ・クロッシングが双方向に開通し、援助物資トラックが通行できると発表した。

*UNRWA：国連難民救済事業機関（UNRWA）は、ガザ回廊の住民を3か月間食わせる量の食糧を保有していると発表し、飢餓拡大を至急止めたいと言った。UNRWAはガザへの早急な食糧搬入許可を求めた。

*パレスチナ・メディア：アル・アクサ殉教者病院によれば、ハーン・ユーンイスの北東部の町アル・カラーラ地区でイスラエル軍の銃撃で高齢男性が死亡した。

10月11日 12:11 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル・メディアは、ガザ停戦の捕虜交換第一段階に関して新たなこと報道した。それは、ハマスの生存人質の全員解放と引き換えに数百人のパレスチナ人囚人を解放するが、マルワン・バルグーチやアフメド・サアダトのような重要人物を除くということだ。

10月11日 11:36 am

*Wafa：医療筋の報告では、この24時間で155人の遺体が病院へ搬送されたが、そのうち135遺体は瓦礫の下から掘り出されたもの。この犠牲者の中には、ガザ市南のグブーン一家の住宅への空爆で死亡した16人、シェイフ・ラドワンで殺害された1人、ハーン・ユーンイス空爆で死亡した2人が含まれている。

*アル・ジャジーラ：殉教者遺体回収パレスチナ民族運動は、イスラエルがまだ735人の遺体を持っており、その中には67人の子どもの遺体も含まれていると言った。さらに、そのうち256体は「数字の墓地」— 名前の代わりに番号を書いた金属板が貼られた墓 — に埋められている。

*パレスチナ NGO ネットワーク：ガザのパレスチナ NGO ネットワークの代表アムジャド・アッシャワは、道路からの瓦礫の撤去や瓦礫の下からの遺体回収に必要な道具や施設が非常に限られていると述べた。彼は、現場に設置するテントをガザに設置する人道的協定の実施を担当当局が待っていると指摘した。

*イスラエル・メディア：ラマッラー北東のカフル・マリク近くのパレスチナ人の土地に建設された「エリ・ヘザヴ」入植地で、武装団の侵入を懸念して、警報が鳴った。

10月11日 2:21 am

*ニュースのまとめ

・トランプ米大統領発言：トランプは合意を外交の歴史的勝利と称賛した。彼はそれをイスラエルにとっても、アラブ人にとっても、ムスリムにとっても、全世界にとっても大きなディールだったと呼んだ。彼は、人質は月曜日に返還され、約28人の人質遺体が瓦礫の中から回収されるであろうと言った。その困難な作業はもう始まっていると述べた。彼は、ガザだけでなく、中東全体が平和になるだろうと主張した。彼は、裕福な何か国かの援助を得て、ガザ復興を開始すると述べた。彼は、イスラエルを訪問し、クネセトで演説し、エジプトを訪れる計画を発表した。彼は、停戦が安定し、継続すると確信していると言った。

・パレスチナ各派共同声明：ハマス、イスラム聖戦、人民戦線（PFLP）は団結と自治を強調する共同声明をだした。彼らは、エジプト、カタール、トルコの尽力に感謝し、これらの国と米政府に対して、イスラエルが合意を守ることを確保してほしいと求めた。彼らは、いかなる外国のガザの代理統治を拒否し、ガザ回廊の統治の決定はパレスチナの内政問題であることを確認した。彼らは、パレスチナ囚人の釈放は、抵抗勢力の連帯と統一した姿勢の反映だと言った。彼らは、合意を占領軍の強制的移住計画の政治的・安全保障上の失敗と見做した。彼らは、全党派による統一的民族的政治プログラムを開始するために、パレスチナ民族の団結を改めて呼びかけた。

・EUの支援；EUは利用可能なツールを使って包括的計画の実施に貢献すると申し出た。特にガザ回廊の安定化と再建を支援したいと言った。

・西岸地区への襲撃；イスラエル占領軍は、ナブルス、シルワド、ニリン、リマ、ラス・カルカル町や村を同時襲撃した。

・ガザの抵抗勢力；パレスチナのニュースは、抵抗勢力がイスラエルとカネと武器をもらって混乱を起こす民兵組織を攻撃したと報じた。たいてい民兵組織はイスラエル軍機の支援で活動するが、今回は航空支援はなかった。

10月11日 12:32 am

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省のムニール・アル・ブルシュ代表はアル・ジャジーラに対して、「医療システムの崩壊と病院の破壊が大きな課題です。今日も、医療品不足のために少女が1人死んだ。継続的な物資搬入と専門医の派遣が必要だ。病院には飲料水と発電機が至急必要だ。国際社会が迅速に行動して、援助物資と医療物資を届けてほしい。ガザではこれまで1万人が行方不明で、瓦礫の下には多くの遺体が埋もれている。不発弾の捜索を行っている市民防衛団への支援も必要だ。

*イスラエル・メディア：公式筋からの情報によると、人質の解放は日曜日に前倒しされる見込みがある。

*アル・ジャジーラ：ハマス、イスラム聖戦、パレスチナ解放人民戦線は次のような共同声明を出した。「エジプト、カタール、トルコの尽力に感謝し、これらの国と米政府に対して、イスラエルが合意を守ることを確保してほしいと求める。われわれは、いかなる外国によるガザの代理統治を拒否し、ガザ回廊の統治の決定はパレスチナの内政問題である。我々は、パレスチナ囚人の釈放は、抵抗勢力の連帯と統一した姿勢の反映であると宣言する。我々は、合意を占領軍の強制的移住計画の政治的・安全保障上の失敗と見做す。我々は、全党派による統一的民族的政治プログラムを開始するために、パレスチナ民族の団結を改めて呼びかける。」

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラはトランプ大統領がガザ戦争終結計画の実施手順を記述した文書を入手した。その主なポイントは以下の通り。

- ・ハマスとイスラエルの停戦承認後72時間以内に戦争を終結させる。
- ・2025年1月19日の合意に基づき、直ちに援助物資搬入を始める。
- ・イスラエルが段階的撤退を開始すると同時、ハマスは人質に関する情報を提供する。
- ・ハマスは72時間以内に生存人質を全員引き渡し、その後で遺体を引き渡す。
- ・イスラエルは拘束中のパレスチナ人囚人に関する情報を提供する。
- ・仲介国と赤十字を通じて、ハマスとイスラエル間の情報交換メカニズムを作る。
- ・毎日少なくとも600台の救援物資トラックをガザに入れ、そのうち50台に燃料とガソリンを運搬させる。
- ・援助物資の配布は国連やその他の組織が行う。
- ・ラファ・クロッシングは双方方向で再開させ、電力と燃料の回復を行う。
- ・共同運営室を設置し、エジプト、カタール、トルコ、米国、ハマス、イスラエルが実施状況を監督する。
- ・捕虜交換は、日曜日から月曜日に午前中にかけて、報道機関を入れずに行う。

*アル・ジャジーラ:国境なき医師団の事務局長はアル・ジャジーラに対し、「イスラエルはハマスだけではなく、ガザ回廊の住民全部に戦争を宣言した。イスラエル軍は人道支援活動従事者を意図的に攻撃し、560人の支援活動従事者と1200人の医療従事者を殺害した。ガザで逮捕された多くの人がイスラエル刑務所で拷問を受けた」と語った。

10月11日 12:13am

*パレスチナ・クロニクル：カッサム旅団は、ガザが2年間続いたジェノサイドと大量避難の終わりを迎えるにあたり、神の勝利と人民の粘り強さを求めたアブ・オベイダ報道官の過去の演説を公開した。

10月11日 8:43pm

*ロイター通信：コロンビアの大統領は、闘争がなければ、ガザの子どもの殺害者は撤退しなかったであろうと言った。ロイターは「ガザへの帰還は人類にとって一時的勝利を意味する。人類に闘争がなかったら、子どもの殺害者たちは撤退しなかったであろう」という大統領の言葉を報道した。

10月11日 7:17pm

*パレスチナ・クロニクル：合意では、イスラエルは2023年10月7日以降ガザで身柄拘束1700人のパレスチナ囚人1,700人と終身刑囚250人を、人質20人と引き換えに釈放する。

10月11日 5:17pm

*パレスチナ・クロニクル：今日イスラエル軍がガザ市の一部から最初の撤退を行ったことで、住宅地区やインフラの大規模な破壊が改めて露呈した。瓦礫しか残っていないのだ。

10月11日 1:56pm

*イスラエル軍ラジオ放送：内務省が合意の一環として釈放するパレスチナ人囚人の名前を公表した。それによると、重罪の刑に服している250人のうち100人は西岸地区へ、5人がエルサレムへの帰還が認められた。

10月11日 1:34 pm

*パレスチナ・クロニクル：停戦合意に発表を受け、イスラエル軍は、合意の実施を何度も延期し、民間人を標的にした空爆を決定した。空爆は、パレスチナ人が合意を祝福しようとしたときに行われ、中には愛する家族と戦争終結を喜んでいたときに、その家族が空爆で殺害されたケースもあった。[ロバート・インラケシュの小論](#)を読みたい。

10月11日 1:13 pm

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍が「イエローライン」に向けて撤退する中、アッラシッド道路が再開し、避難民がガザ市へと帰還を開始したと報じた。